

# がんでも保険加入OK

富士少額短期保険(甲府市丸の内1丁目、並木かずえ社長)は、がんの治療中の人などを対象にした死亡保険「がんになっても入る保険」の取り扱いを始めた。財務省甲府財務事務所によると、がん患者を対象とした死亡保険は全国初。同社は「少しでもがん患者のサポートをしていきたい」と話している。(岡達也)

1日に取り扱いをスタートした。がんの治療中の人や過去にがんを経験した人を対象とし、がん入院中も申し込める。保障範囲はがんによる死亡、その他の疾病や事故、感染症による死亡など。

がんの部位は甲状腺や胃、食道など19部位で、幅広く対応する。保険金額は10万円単位で、部位によって上限額を設定していて、最大のもので200万円が上限となる。

月々の保険料は、がんの部位や性別、治療期間などに基づいて算出。一例として、甲状腺がんの治療期間が10年の60歳男性が保険金額100万円とした場合、保険料は月額2140円。胃がんの治療期間が5年の

## 富士少額短期 全国初「死亡」を保障

55歳女性が保険金額100万円のプランは月額1760円としている。

同社と財務省甲府財務事務所によると、従来の死亡保険はがんや疾病の診断を受けた後には加入できなかったり、難色を示されたりするケースが多いという。

「がんの治療中でも入れる保険はないか」「過去にがんになったが、申し込める保険はないか」などの声が寄せられていて、同社が新商品として開発した。

幅広いがんに対応することとで1年間で1万人の申し込みを見込んでいる。並木社長は「生活の立て直しの資金などとして保険を活用してほしい」と話している。